



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月26日

上場会社名 株式会社バルカー 上場取引所 東
 コード番号 7995 URL <https://www.valqua.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 C O O (氏名) 本坊 吉博
 問合せ先責任者 (役職名) I R 室長 (氏名) 遠藤 浩志郎 TEL 03-5434-7372
 四半期報告書提出予定日 2022年10月26日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	29,577	19.6	3,943	46.2	4,162	47.9	3,173	65.5
2022年3月期第2四半期	24,740	14.4	2,696	60.0	2,815	59.8	1,916	6.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,531百万円 (51.9%) 2022年3月期第2四半期 2,984百万円 (56.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	179.31	—
2022年3月期第2四半期	108.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	66,439	44,243	64.7
2022年3月期	60,200	40,979	66.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 42,973百万円 2022年3月期 39,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	75.00	125.00
2023年3月期	—	60.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	5.3	6,500	△6.8	6,700	△6.9	4,800	△0.8	271.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	18,688,733株	2022年3月期	18,688,733株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	971,218株	2022年3月期	1,005,907株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	17,695,162株	2022年3月期2Q	17,661,031株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 受注の状況	10
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

●概況

当第2四半期連結累計期間においては、ロシアによるウクライナへの侵攻が一段の資源高やモノ不足を誘発し、グローバル経済全体に大きな影響を及ぼしました。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症によって受けたダメージからの回復が期待されたものの、個人消費は物価高の影響を受けて伸び悩みが目立ち、また当社グループが属する製造業においては、海外におけるロックダウン、半導体及び部品の不足、原材料価格及び入手難易度の上昇等の要因により、一部の業種では一時的に生産への支障が生じる状況となりました。

一方海外経済は、エネルギーをはじめとする物価高が顕著なものとなり、さらなるインフレへの警戒感が個人消費に悪影響を与え、また企業の生産活動の回復に向けた動きも鈍いものとなりました。

このような事業環境下当社グループは、当期から開始した2か年中期経営計画“New Frontier 2023”(NF2023)で掲げた「成長を守る」という視点に立ち、地政学リスクの増大に対応したサプライチェーンの見直し、半導体など成長市場に向けた製品競争力・供給能力の強化、DX(デジタルトランスフォーメーション)を柱とする攻守両面の企業改革等に取り組みました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高が295億7千7百万円(前年同期比19.6%増)、営業利益が39億4千3百万円(同46.2%増)、経常利益が41億6千2百万円(同47.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が31億7千3百万円(同65.5%増)となりました。

なお、第2四半期連結会計期間(3か月)における受注高は175億1千2百万円、当四半期末の受注残高は165億2千8百万円となりました。

●事業セグメント別の状況

当第2四半期連結累計期間における事業セグメント別の業績は、次のとおりです。

① シール製品事業

シール製品事業は、半導体製造装置・デバイスなど先端産業市場の売上が高水準に推移したことに加え、国内のプラント定期修繕の動向を反映してプラント市場の販売も増加し、売上高は199億8千4百万円(前年同期比18.3%増)、セグメント利益は33億4千3百万円(同45.1%増)となりました。

② 機能樹脂製品事業

機能樹脂製品事業は、半導体製造装置・デバイスなどの先端産業市場の売上が拡大したことに加え、機器市場及びプラント市場の販売も堅調に推移し、売上高は80億5百万円(前年同期比23.1%増)、セグメント利益は6億2千1百万円(前年同期比28.5%増)となりました。

③ シリコンウエハーリサイクル事業他

シリコンウエハーリサイクル事業他は、主力事業は堅調に推移したものの、新規事業分野を含むH&S事業は開発費用等が先行的に発生し、売上高は15億8千7百万円(前年同期比18.4%増)、セグメント損失は2千1百万円(前年同期はセグメント損失9千1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は664億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ62億3千9百万円増加いたしました。流動資産は394億1千9百万円となり、44億8千3百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加10億8千5百万円、現金及び預金の増加9億6千1百万円、商品及び製品の増加9億2千7百万円、電子記録債権の増加7億5百万円、原材料及び貯蔵品の増加6億9千8百万円等です。固定資産は270億2千万円となり、17億5千5百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の増加17億2千9百万円等です。

負債は、221億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億7千5百万円増加いたしました。流動負債は162億5千6百万円となり、29億1千9百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加8億5千7百万円、流動負債のその他に含まれる契約負債の増加5億9千7百万円、短期借入金の増加3億9千4百万円、流動負債のその他に含まれる仮受金の増加3億5千6百万円、有償支給取引に係る負債の増加2億6千2百万円等です。固定負債は59億4千万円となり、5千6百万円増加いたしました。主な要因は、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債の増加1億1千7百万円、退職給付に係る負債の減少6千5百万円等です。

純資産は442億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億6千4百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加18億4千6百万円、為替換算調整勘定の増加12億8千4百万円等です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の66.0%から64.7%となり、1.3ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は、社内で目安として設定した数値を上回るものとなり、同四半期末受注残高も高い水準を維持しました。しかしながら第3四半期以降に向けては、ウクライナ情勢など世界各地における地政学的問題の動向、資源・原材料価格の水準、主要通貨間為替レートを巡る状況等が、グローバル経済に影響を与え得る不透明要素として存在し、特に当社の周辺においては半導体や産業機械に関連する需要の減速があり得る状況となっております。

以上を踏まえまして、当連結会計年度における業績予想は一旦据え置くこととし、予想売上高は560億円（前年同期比5.3%増）、同営業利益は65億円（同6.8%減）、同経常利益は67億円（同6.9%減）、同親会社株主に帰属する当期純利益は48億円（同0.8%減）としております。

この予想には需要動向の変動並びに原材料価格及び物流費用の上昇を一定程度織り込んでおりますが、世界的なサプライチェーンの寸断、急激な外国為替水準の変動、新型コロナウイルス感染症の大規模な再拡大、ウクライナ情勢をはじめ世界各地における地政学的問題のさらなる悪化など当社グループの事業環境に大きな影響を及ぼす事態が発生した場合、予想値と実際の業績とは乖離する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,144	9,105
受取手形、売掛金及び契約資産	14,625	15,710
電子記録債権	2,460	3,166
商品及び製品	3,940	4,868
仕掛品	962	968
原材料及び貯蔵品	2,164	2,862
その他	2,659	2,763
貸倒引当金	△22	△25
流動資産合計	34,935	39,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,799	7,763
土地	4,002	4,386
その他（純額）	5,744	5,456
有形固定資産合計	17,545	17,605
無形固定資産		
その他	1,516	1,412
無形固定資産合計	1,516	1,412
投資その他の資産		
投資有価証券	4,047	5,776
その他	2,154	2,225
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	6,202	8,002
固定資産合計	25,264	27,020
資産合計	60,200	66,439

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,721	6,579
電子記録債務	927	977
短期借入金	1,463	1,858
1年内返済予定の長期借入金	77	251
未払法人税等	1,094	1,114
賞与引当金	508	623
役員賞与引当金	70	35
その他	3,473	4,816
流動負債合計	13,336	16,256
固定負債		
長期借入金	3,632	3,623
退職給付に係る負債	472	407
その他	1,779	1,909
固定負債合計	5,883	5,940
負債合計	19,220	22,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,957	13,957
資本剰余金	4,061	4,103
利益剰余金	21,043	22,889
自己株式	△1,517	△1,465
株主資本合計	37,545	39,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,625	1,653
為替換算調整勘定	447	1,732
退職給付に係る調整累計額	110	102
その他の包括利益累計額合計	2,183	3,488
非支配株主持分	1,250	1,269
純資産合計	40,979	44,243
負債純資産合計	60,200	66,439

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	24,740	29,577
売上原価	14,939	17,414
売上総利益	9,801	12,162
販売費及び一般管理費	7,104	8,219
営業利益	2,696	3,943
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	21	26
設備賃貸料	185	131
持分法による投資利益	14	11
為替差益	21	118
その他	65	106
営業外収益合計	311	398
営業外費用		
支払利息	28	50
設備賃貸費用	142	101
その他	21	28
営業外費用合計	192	179
経常利益	2,815	4,162
特別利益		
関係会社出資金売却益	—	485
特別利益合計	—	485
特別損失		
固定資産廃棄損	7	18
減損損失	15	—
石綿疾病補償金	19	—
特別損失合計	42	18
税金等調整前四半期純利益	2,772	4,629
法人税、住民税及び事業税	722	1,351
法人税等調整額	57	65
法人税等合計	780	1,416
四半期純利益	1,992	3,212
非支配株主に帰属する四半期純利益	75	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,916	3,173

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,992	3,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	423	30
為替換算調整勘定	564	1,298
退職給付に係る調整額	1	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△0
その他の包括利益合計	991	1,319
四半期包括利益	2,984	4,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,860	4,477
非支配株主に係る四半期包括利益	123	54

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,772	4,629
減価償却費	1,236	1,381
減損損失	15	—
受取利息及び受取配当金	△23	△30
支払利息	28	50
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△83	△77
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5	45
固定資産廃棄損	7	18
関係会社出資金売却損益 (△は益)	—	△485
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,225	△684
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,377	△2,224
仕入債務の増減額 (△は減少)	640	382
その他	475	624
小計	2,461	3,630
利息及び配当金の受取額	24	31
利息の支払額	△28	△50
法人税等の還付額	36	5
法人税等の支払額	△1,029	△1,309
石綿疾病補償金の支払額	△20	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,443	2,295
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,488	△1,215
有形固定資産の売却による収入	2	321
無形固定資産の取得による支出	△226	△149
投資有価証券の取得による支出	△312	△652
投資有価証券の売却による収入	150	—
差入保証金の差入による支出	△49	△5
差入保証金の回収による収入	37	24
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	—	1,028
その他	△30	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,916	△665
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,221	2,209
短期借入金の返済による支出	△1,003	△1,999
長期借入れによる収入	747	—
長期借入金の返済による支出	△58	△50
リース債務の返済による支出	△97	△100
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△878	△1,322
非支配株主への配当金の支払額	△21	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92	△1,290
現金及び現金同等物に係る換算差額	184	612
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△380	952
現金及び現金同等物の期首残高	8,026	8,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,645	9,013

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	シール 製品事業	機能樹脂 製品事業	シリコン ウエハーリサ イクル事業他			
売上高						
外部顧客への売上高	16,894	6,504	1,341	24,740	—	24,740
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,894	6,504	1,341	24,740	—	24,740
セグメント利益又は損失(△)	2,305	483	△91	2,696	—	2,696

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	シール 製品事業	機能樹脂 製品事業	シリコン ウエハーリサ イクル事業他			
売上高						
外部顧客への売上高	19,984	8,005	1,587	29,577	—	29,577
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	19,984	8,005	1,587	29,577	—	29,577
セグメント利益又は損失(△)	3,343	621	△21	3,943	—	3,943

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

3. 補足情報

(1) 受注の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	前第2四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	増減率(%)	前第2四半期 連結会計期間末 (2021年9月30日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2022年9月30日)	増減率(%)
シール製品事業	17,859	21,019	17.7	4,649	6,546	40.8
機能樹脂製品事業	8,214	11,137	35.6	5,506	9,720	76.5
シリコンウエハーリサイクル事業 業他	1,496	1,587	6.1	339	261	△22.9
合計	27,570	33,745	22.4	10,495	16,528	57.5

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	5,642	2,419	82	8,145
II 連結売上高(百万円)				24,740
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	22.8	9.8	0.3	32.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。

(1)アジア 中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム

(2)北米 アメリカ合衆国

(3)その他の地域 ヨーロッパ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。

当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	7,210	2,912	74	10,196
II 連結売上高(百万円)				29,577
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	24.4	9.8	0.3	34.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。

(1)アジア 中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム

(2)北米 アメリカ合衆国

(3)その他の地域 ヨーロッパ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。